

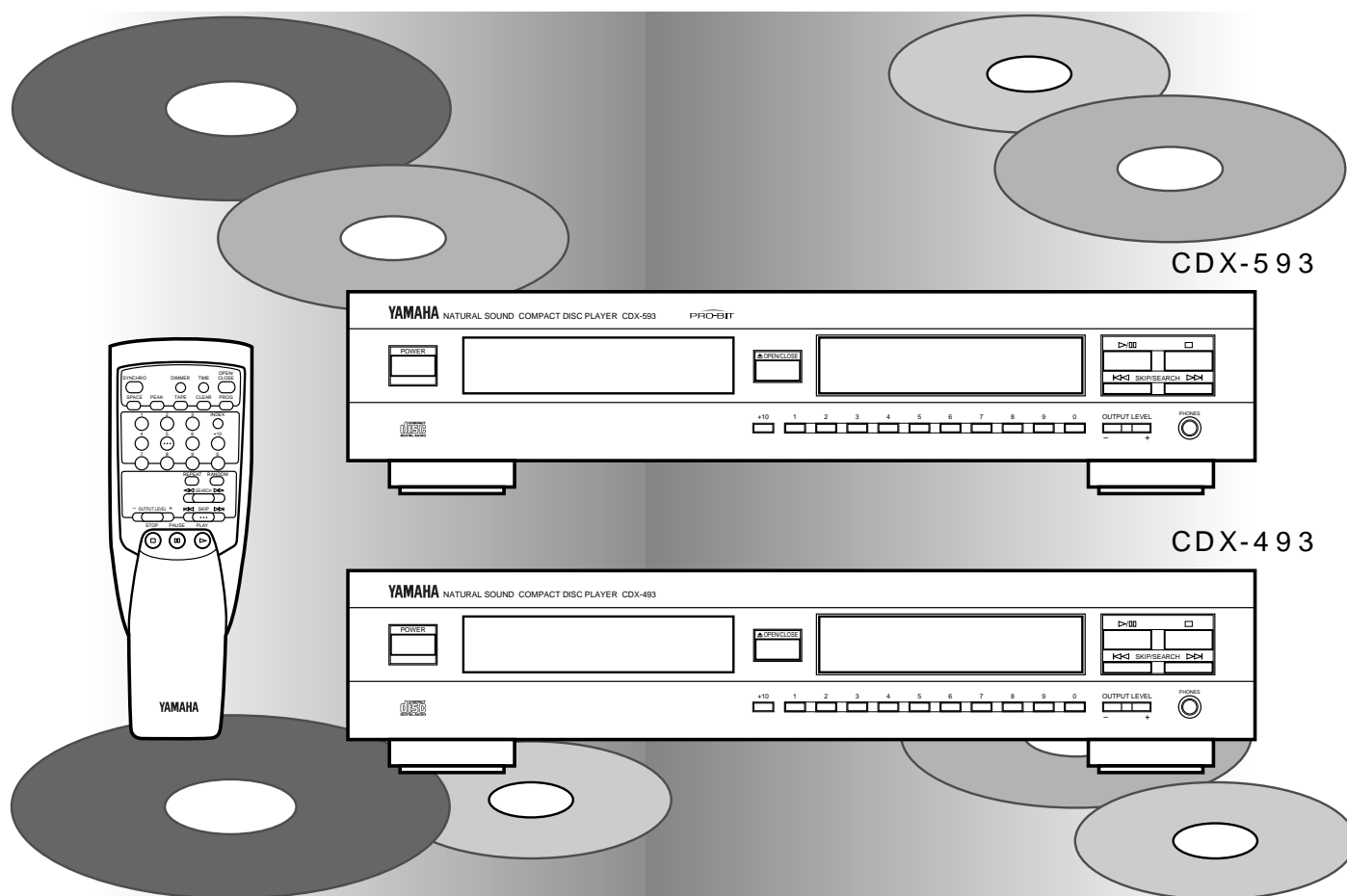
YAMAHA

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

CDX-593

CDX-493

取扱説明書



このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤ - ヤマハ CDX-593/CDX-493をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDX-593/CDX-493の優れた性能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用前に必ずお読みくださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

本機は電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。












ご使用前に必ずお読みください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)

ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。










この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
設置されるとき	使用中に異常が発生したとき
 <p>本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。表示された電源電圧交流100V以外の電圧で 사용하지 ないでください。火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。</p>	 <p>電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>
	 <p>万一機器の内部に水や異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>
 <p>風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p>	 <p>万一、本機を落としたり、キャビネットを損傷した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>
ご使用になるとき	
 <p>本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。本機の通風孔、ディスクの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p>	<p>絵表示の例</p>  <p>指を挟まれないよう注意</p> <p>記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。</p>  <p>分解禁止</p> <p>⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。</p>  <p>記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。</p>
 <p>本機のキャビネットは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p>	



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

設置される時		ご使用になるとき	
	<p>湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p> <p>電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</p>		<p>接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。</p> <p>電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p> <p>付属のリモコンに電池を挿入する場合、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p> <p>本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがありますので、次の点にご注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。 		<p>指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>
		 <p>指を挟まれないよう注意</p>	<p>お子様がディスクの挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。</p>
			<p>旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。</p>
	お手入れについて		
	<p>本機を設置する場合は、間隔をおいてください。放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまを開けてください。</p>		<p>1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。</p>
	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。またディスクは取り出しておいてください。それを怠ると故障の原因となることがあります。</p>		<p>お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</p>

特 長

ヤマハオリジナルDAC使用による高音質設計
(CDX-593)

テープ録音に便利なテーププログラム機能および
オートスペース機能

デッキとの同期録音を可能にするシンクロ録音機能

MDデッキなどでCDのデジタル録音を可能にする、
デジタル出力端子

演奏時にディスプレイを自動的に消灯させる、
オートディスプレイオフ機能 (CDX-593)

目 次

安全上のご注意	2
特長	4
ご使用の前に	5
各部の名称とはたらき	6
接続のしかた	8
基本的な演奏	10
曲を順不同に聞く(ランダム演奏)	13
繰り返し演奏する(リピート演奏)	13
好きな曲を好きな順序で聞く(プログラム演奏)	14
インデックス番号を指定して聞きたい ところを演奏する(インデックスサーチ)	15

本機のプログラム機能を使ってテープ録音する (テーププログラム)	16
テープ録音に便利な機能について	19
本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる (シンクロ録音)	20
設定した時間に演奏を開始する(タイマー演奏)	21
ディスクの取り扱い	22
故障かな?と思ったら	23
参考仕様	23
ヤマハホットラインサービスネットワーク	24

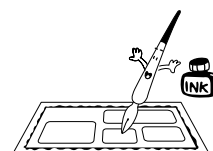


これは電子機械工業会 「音のエチケット」
キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

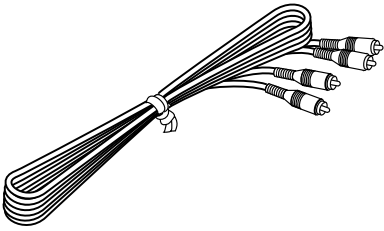
保証書の手続きを



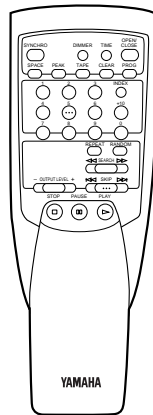
お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、十分ご注意ください。

ご使用前に

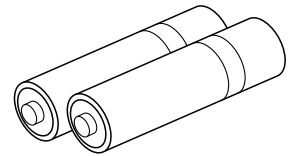
付属品を確認してください



出力コード(ピンプラグコード)



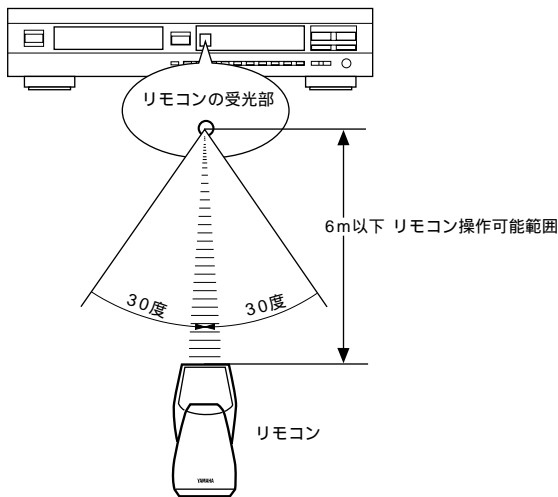
リモコンユニット



単3乾電池 (SUM-3) 2本

リモコンについて

リモコン信号は直進性の高い赤外線を使っています。リモコンと本体受光部の間に遮蔽物が入らないようご注意ください。



付属のリモコンは...

ヤマハCDプレーヤー専用です。

もし本機のリモコン操作によって誤動作をする機器があるときは、その機器の設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください

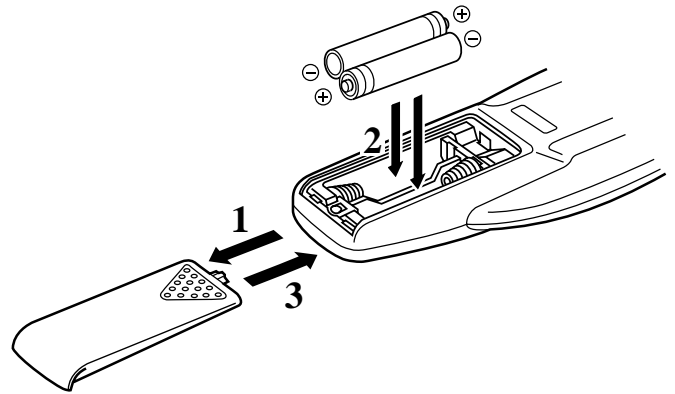
お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高いところにも置かないようご注意ください。

リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、誤動作の原因となります。

電池交換のしかた

- 1 リモコンの裏のふたをはずします。
- 2 単3型(SUM-3)乾電池を2個、プラス(+)とマイナス(-)の向きを確認して、表示どおりに正しく入れてください。
- 3 電池をセットしたらカチッと音がするまでふたを閉めます。



電池交換の時期は？

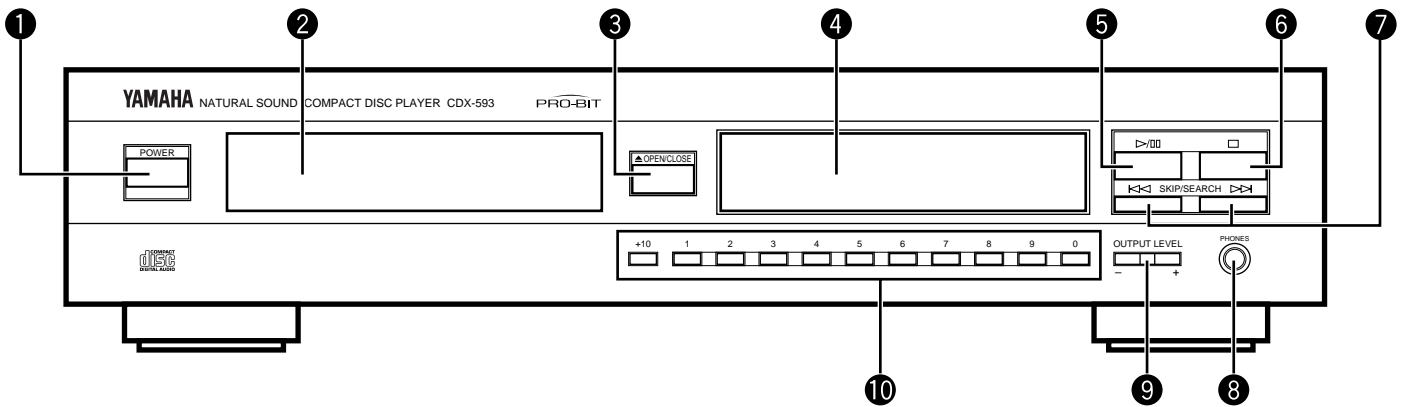
リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

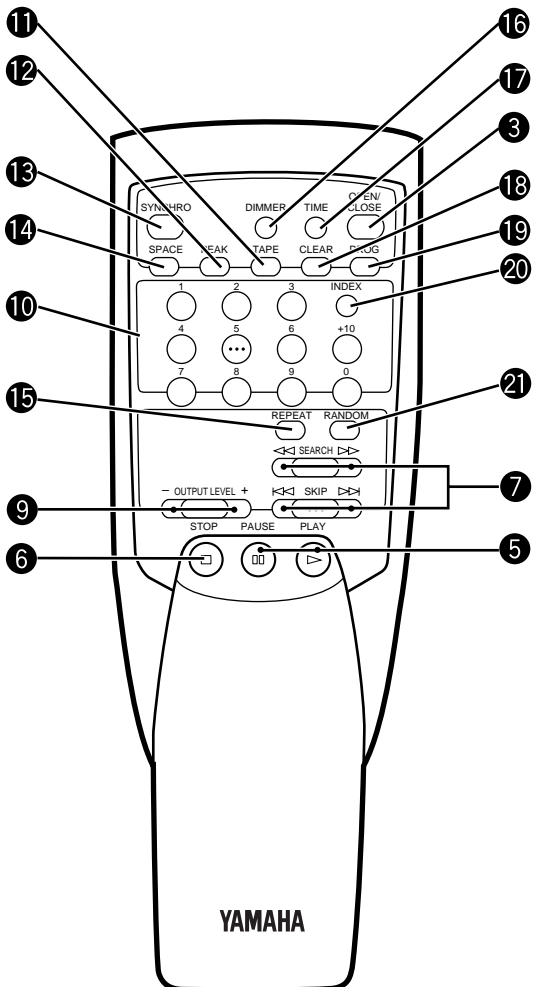
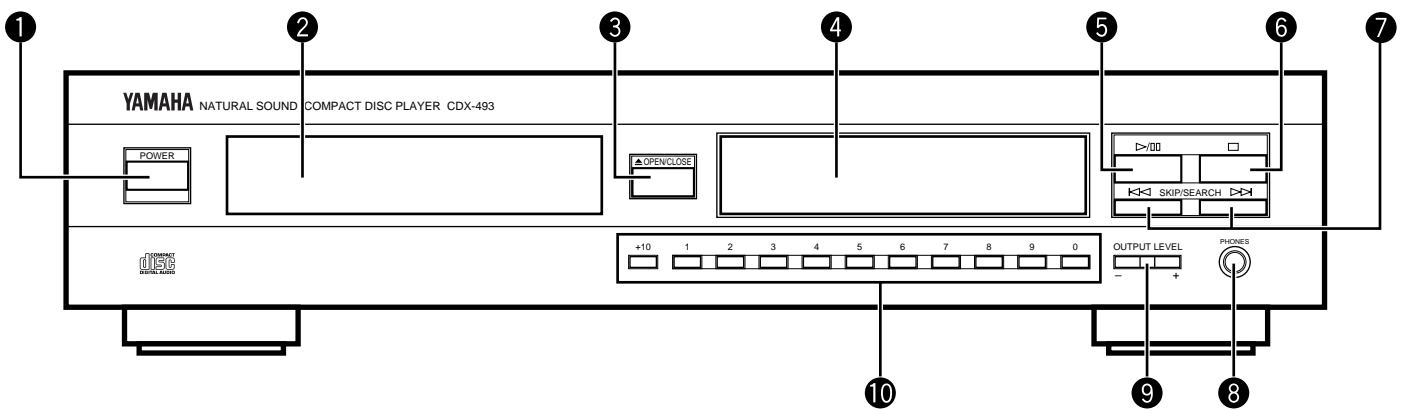
- ・ 単3乾電池をご使用ください。
- ・ 新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- ・ アルカリやマンガンなど種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 充電式の乾電池はご使用になれません。
- ・ 電池のプラス(+)とマイナス(-)を金属片で直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- ・ 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- ・ 万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

各部の名称とはたらき

CDX-593



CDX-493

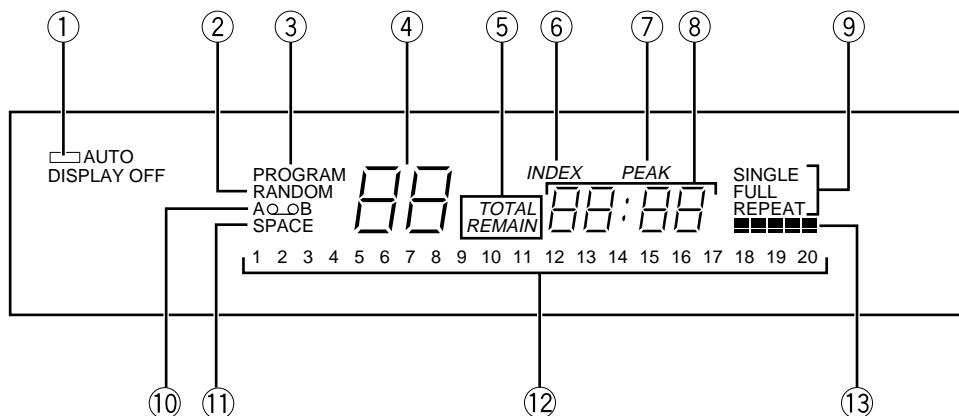


- 1** POWER
 押すと電源が入り、もう一度押すと切れます。
 ディスクがディスクトレイにセットされているときは、電源が入ると演奏が自動的にスタートします。
- 2** ディスクトレイ
 ディスクをセットするところです。 **△ OPEN/CLOSE** を押すと開き、もう1度押すと閉じます。
 ディスクトレイは手で軽く押ししても、 **▷/∞** (PLAY、PAUSE) や **[RANDOM]**、**[PEAK]**、**[SYNCHRO]** または **[+10]**、**[1]** ~ **[0]** を押ししても閉じることができます。
- 3** **△ OPEN/CLOSE**
 トレイを開閉するときに押します。
- 4** ディスプレイ
 くわしくは7ページを参照してください。
- 5** **▷/∞** (PLAY/PAUSE)
 演奏をスタート/一時停止(ポーズ)させるキーです。
 また、リモコンでは **[PLAY]** と **[PAUSE]** の2つに独立しています。
- 6** **□** (STOP)
 演奏を止めるときに押します。
- 7** **SKIP** (**◀◀** **▶▶**) / **SEARCH** (**◀◀** **▶▶**)
 押すごとに曲の頭出し (SKIP) ができ、押し続けると早送り、早戻し (SEARCH) ができます。
 プログラムのチェックなどにも使います。
 また、リモコンでは **[SKIP]** と **[SEARCH]** の2つに独立しています。

- ⑧ PHONESジャック
ヘッドホンで聞くとときに、プラグを差し込みます。
- ⑨ OUTPUT LEVEL
+を押すと本機背面の出力端子からの音声出力レベルとヘッドホンの音量が大きくなり、-を押すと小さくなります。
- ⑩ キー (+ 10、1 ~ 0)
選曲やプログラムの設定時に曲番を指定するキーです。
- ⑪ TAPE
テーププログラムを設定するときに使います。
- ⑫ PEAK
ディスク内の最大音量箇所をさがすときに使います。(19ページを参照してください。)
- ⑬ SYNCHRO
カセットデッキとシンクロ録音するときに使います。
- ⑭ SPACE
曲間に4秒間のスペースを入れるときに使います。
- ⑮ REPEAT
押すごとにシングルリピート演奏、フルリピート演奏、通常演奏と切り替わります。

- ⑯ DIMMER
押すごとにディスプレイの明るさを切り替えます。
- ⑰ TIME
押すごとに時間表示を切り替えます。
“表示なし”：現在演奏中の曲の経過時間
REMAIN：現在演奏中の曲の残り時間
TOTAL：ディスクの総演奏時間
TOTAL REMAIN：ディスクの演奏残り時間
- ⑱ CLEAR
プログラムを解除するときに押します。
- ⑲ PROG
プログラムの設定するときや確認するときなどに使います。
- ⑳ INDEX
インデックスサーチをするときに押します。
- ㉑ RANDOM
押すと順不同に曲を演奏します。

ディスプレイ



- ① AUTO DISPLAY OFFインジケータ (CDX-593のみ)
オートディスプレイオフ機能を作かしているとき、演奏中に点灯します。
- ② RANDOM インジケータ
ランダム演奏中に点灯します。
- ③ PROGRAM インジケータ
プログラムの設定時やプログラム演奏中に点灯します。
- ④ トラック(曲番)インジケータ
演奏時やプログラム設定時に曲番を表示します。
ディスクをセットして [OPEN/CLOSE] でディスクトレイを閉じると、数秒間そのディスクに収録されている総曲数を表示します。
- ⑤ TOTAL/REMAIN インジケータ
[TIME] を押すごとに時間表示の内容が変化ります。
- ⑥ INDEX インジケータ
[INDEX] を押すと点灯します。
- ⑦ PEAKインジケータ
[PEAK] を押すと点灯します。
- ⑧ タイムインジケータ
演奏時間を表示します。
- ⑨ SINGLE REPEAT/FULL REPEAT インジケータ
リピート演奏の種類が“ SINGLE ” シングルリピートか“ FULL ” フルリピートかを表示します。
- ⑩ テープインジケータ
テーププログラムを使って録音するときにこのインジケータを点灯させます。
- ⑪ SPACEインジケータ
曲間に4秒間のスペースを入れるとき点灯します。
- ⑫ ミュージックカレンダー
ディスクに収録されている曲番が点灯します。
- ⑬ アウトプットレベルインジケータ
出力端子の音声出力レベル、およびヘッドホンの音量レベルを表示します。

接続のしかた

接続をはじめる前に、必ず各機器の電源を切ってください。
接続するアンプによっては端子名が異なるものがあります。
接続するアンプの取扱説明書も参照してください。

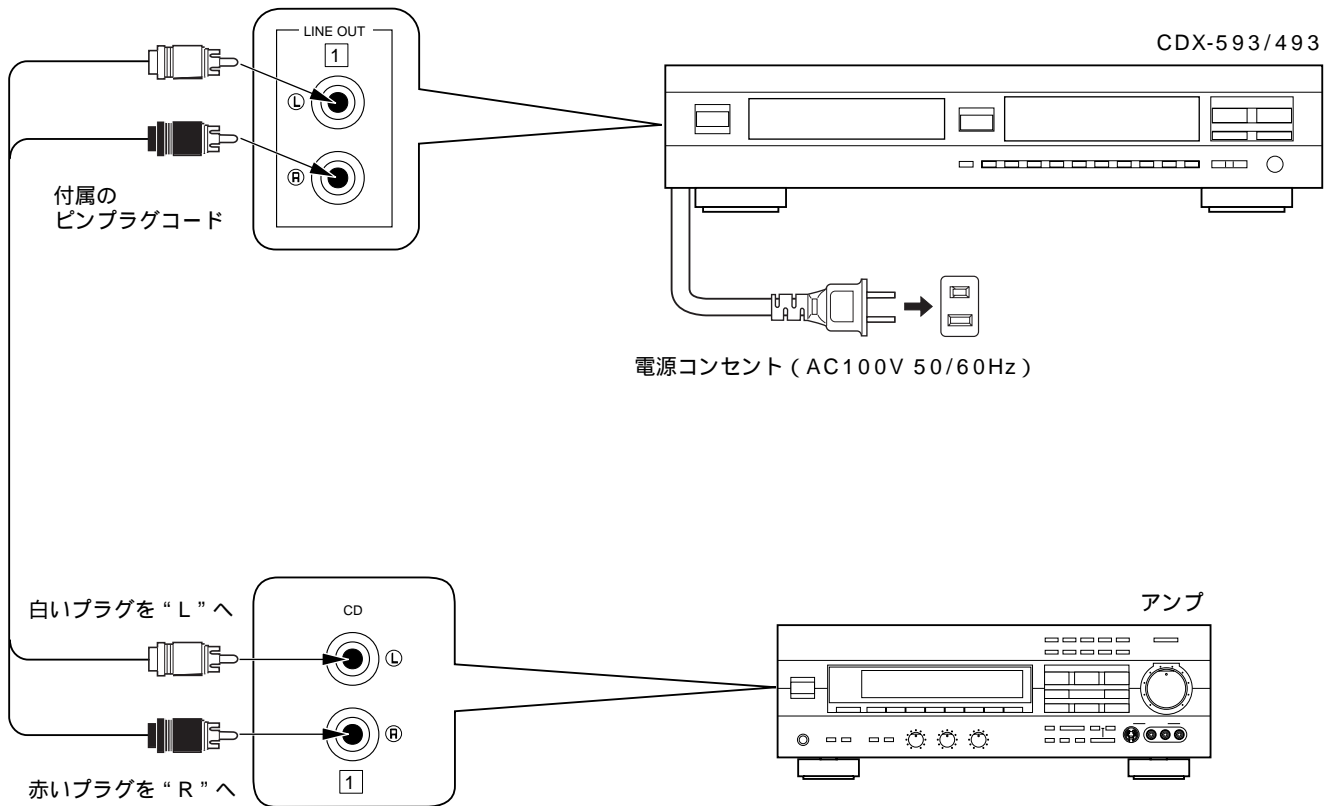
本機はアナログ (LINE OUT)、デジタル (DIGITAL AUDIO OUT) の 2 系統の出力端子を装備しています。接続する機器に合わせて、使用する出力端子をお選びください。

アナログ出力端子に接続する場合

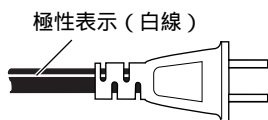
本機の LINE OUT 端子を、付属のピンプラグコードを使ってアンプの CD (アナログ) 端子に接続します。

接続は、右チャンネル (R)、左チャンネル (L) を確認したのち、正しくおこなってください。

ヤマハのアンプやレシーバーと接続するときは、本機と同じ番号 **1** のついた端子に接続してください。



電源プラグと極性表示について



すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
本機の電源コードには、電源トランスの巻始め側を極性表示 (白線) されています。
プラグを差し替えると音質が変わる場合は、好みの極性でご使用ください。

デジタル出力端子に接続する場合

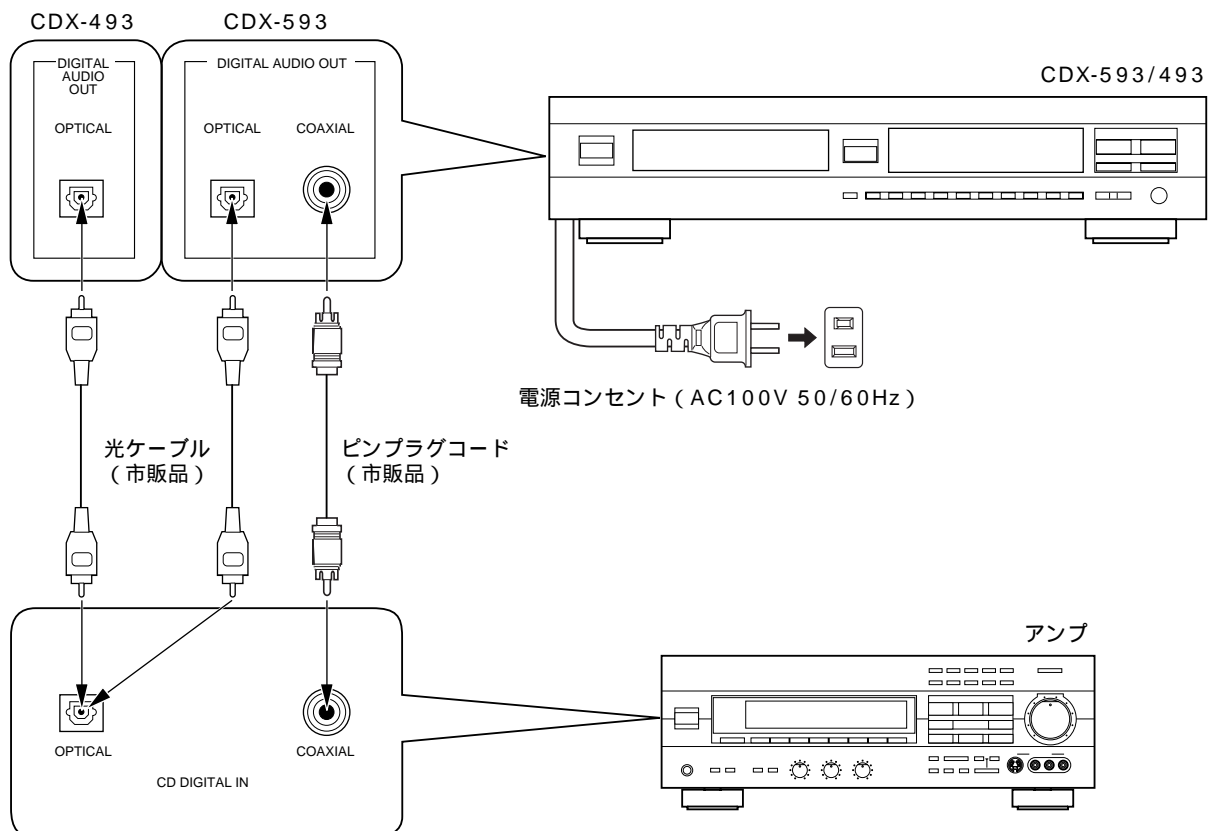
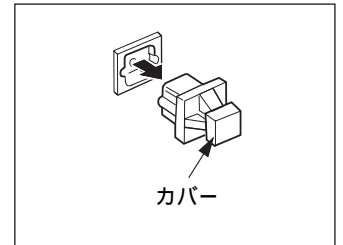
本機の DIGITAL AUDIO OUT 端子をデジタル録音機器 (DAT など) のデジタル入力端子に接続すれば、CD のデジタル音声をデジタルのまま録音することができます。

デジタル出力端子 (光 / 同軸) を使用するときには OUTPUT LEVEL を最大に設定してください。

光デジタル端子を使用するときは (CDX-593 / 493)

本機の OPTICAL (光) 出力端子のカバーを取り外し、市販の光ケーブルを使用してアンプの光端子へ接続します。本機の OPTICAL (光) 出力端子を使用しない場合は、ほこり等の侵入を防ぐため、常にカバーをはめたままの状態にしておいてください。

本機の OPTICAL (光) 出力端子は EIAJ 規格にもとづき設計されています。EIAJ 規格を満たさない光ケーブルを使用しますと、正常に動作しないことがあります。



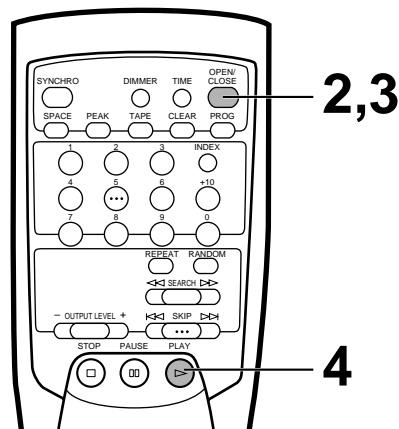
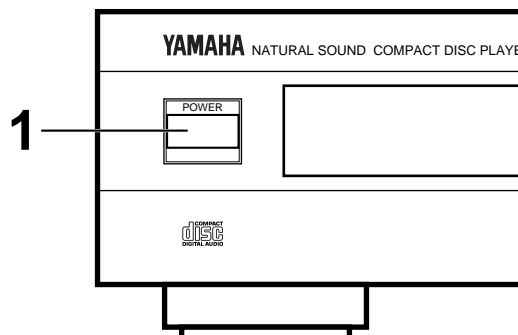
デジタル同軸端子を使用するときは (CDX-593 のみ)

CDX-593 の DIGITAL AUDIO OUT COAXIAL (同軸) 端子と、アンプの CD (デジタル同軸) 端子を、市販のピンプラグコード (1P) または付属のピンプラグコードの片側を使って接続します。

COAXIAL / OPTICAL 端子の双方に接続する必要はありません。どちらか一方の接続だけで使用することができます。

基本的な演奏

本書はリモコンによる操作を中心に説明しています。
本体のフロントパネル上で操作する場合は対応するキーをご使用ください。



1 **POWER** を押し、電源を入れます。

2 **OPEN/CLOSE** を押してディスクトレイを開け、ディスクをセットします。

レーベル面を上にして、溝の内側に置く。

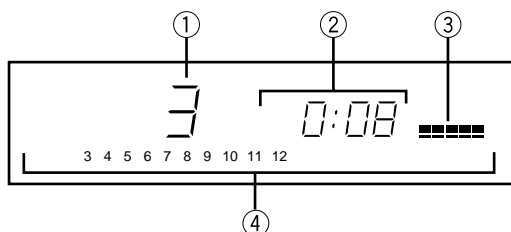
8 cmCDはディスクトレイの内側の溝に合わせてセットします。

3 **OPEN/CLOSE** を押します。
ディスクトレイが閉まります。

4 **PLAY** を押します。
ディスクの最初の曲から演奏がはじまります。

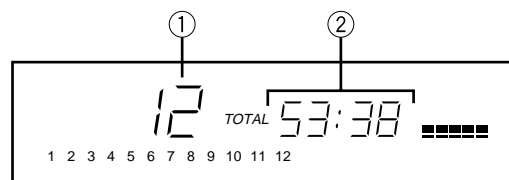
CDは従来のアナログレコードやテープ再生時のような演奏前のノイズがほとんどありません。演奏スタートと同時に大音量となることがありますので、アンプのボリュームの位置にご注意ください。

演奏中の表示について



- ① 演奏中の曲番を表示します。
- ② 演奏経過時間を表示します。
(詳しくは、12ページ『演奏時間表示の切り替え』を参照してください。)
- ③ 出力端子の音声出力レベルおよびヘッドホンの音量レベルを表示します。
- ④ CDに収録されている曲番を表示します。
収録曲数が20を越えるCDの場合は、21曲目以降は表示されません。
演奏が終わった曲番は消灯しますので、残りの曲番と曲数がひと目で確認できます。

総演奏時間の表示について



- ① 総曲数を示します。
- ② 総演奏時間を表示します。

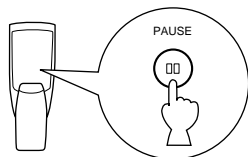
OPEN/CLOSE を押してトレイを閉じたとき、ディスクの総曲数と総演奏時間を数秒間表示します。

PLAY、**RANDOM** を押したとき、**+10**、**1** ~ **0** などのキーで曲番を指定したとき、またはディスクトレイを手で押して閉めたときは演奏が自動的に始まり、総曲数、総演奏時間は表示されません。

本機の電源を切るには

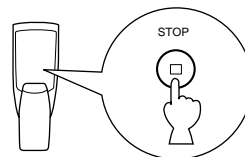
もう一度 **POWER** を押します。

一時的に演奏を止めるには



PAUSE を押します。
 押したところで一時停止(ポーズ)になります。
 再び演奏をはじめるとは **PAUSE** (または **PLAY**) を押します。
 本体の **▶/00** でも同じ操作ができます。
 一時停止中は演奏時間表示の「:」が点滅します。

演奏を停止するには

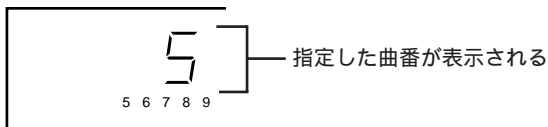
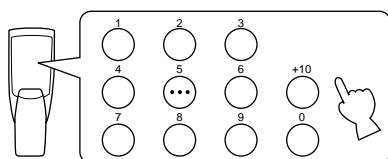


STOP を押します。
 本体の **□** でも同じ操作ができます。

好きな曲を聞くには

ダイレクト選曲

+10、**1** ~ **0** で曲番を指定します。指定した曲の演奏が自動的に始まります。



曲番10以上を指定するには
+10 を押して10の位を決め、次に1の位を **1** ~ **0** ボタンで指定します。

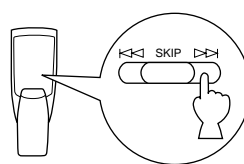
(例) 曲番12
+10 を押して
2 を押す。

(例) 曲番24
+10 を2回押して
4 を押す。

ディスクに収録されている曲番より大きな曲番を指定すると、最後の曲を演奏します。

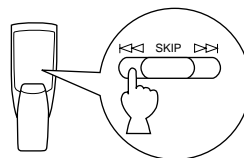
飛び越し選曲

今、演奏している曲より後の曲を聞くには



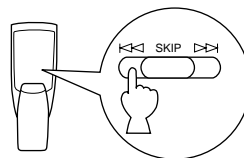
SKIP >>> を1回押す。
 (押した回数だけ後の曲に飛び越します。)

今、演奏している曲の頭から聞くには



SKIP <<< を1回押す。

今、演奏している曲より前の曲を聞くには



SKIP <<< を2回続けて押す。
 (押し続けると曲番1まで戻ります。)

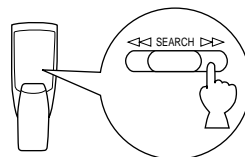
飛び越し選曲はポーズ中や停止中にもできます。選曲が終わったら **PAUSE** または **PLAY** を押して演奏をはじめます。
 本体のキーを使用する場合、押し続けると早送りや早戻し (SEARCH) になりますので、ご注意ください。

早送り、早戻しをするには

演奏中や一時停止中に、ディスクの内容を早送りまたは早戻ししながら聞きたいところをさがすことができます。

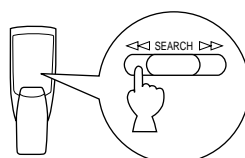
演奏中に操作すると音が小さく聞こえます。一時停止中に操作すると音は聞こえません。

早送り



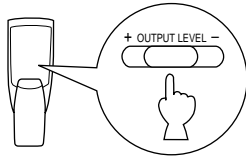
SEARCH >>> を押し続けている間、早送りします。

早戻し

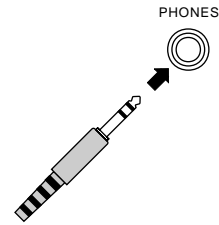


SEARCH <<< を押し続けている間、早戻しします。

音量を調節するには



ヘッドホンで聞くときは



ヘッドホンのプラグをPHONESジャックに接続します。

OUTPUT LEVEL で音量を調節します。

+ を押すと、リアパネルの出力端子の音声出力レベルが大きくなります。

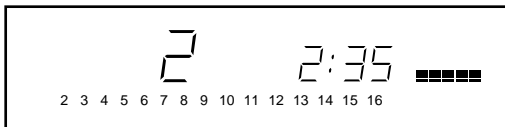
- を押すと、リアパネルの出力端子の音声出力レベルが小さくなります。

ヘッドホンの音量も調節できます。

演奏時間表示の切り替え

TIME を押すごとに次のように切り替わります。

現在演奏中の曲の経過時間 (“表示なし”)



(2曲目の頭から2分35秒経過)

現在演奏中の曲の残り時間 (REMAIN)



(2曲目の終わりまであと1分2秒)

今、演奏しているところからディスクの最後まで
の残り演奏時間 (TOTAL REMAIN)



(ディスクの終わりまであと32分24秒)

ディスクの総演奏時間 (TOTAL)



(ディスクに入っている総演奏時間は38分14秒)

曲番 25、もしくはそれを越える曲を演奏する場合、その曲の残り時間は表示されません。

ディスプレイの明るさの切り替え

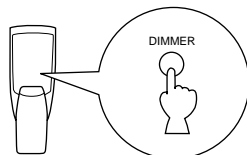
DIMMER を押すごとにディスプレイの明るさが次のように切り替わります。

CDX-593は

普通の明るさ

薄暗い明るさ

消灯



CDX-493は

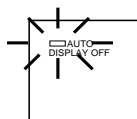
普通の明るさ

やや薄暗い明るさ

薄暗い明るさ

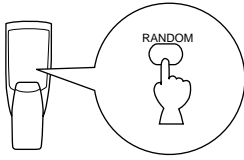
ディスプレイは演奏中だけ消灯し、それ以外は薄暗い明るさで表示します。

ディスプレイが消えている間はAUTO DISPLAY OFFインジケータが点灯します。



曲を順不同に聞く(ランダム演奏)

RANDOM を押します。



ランダム演奏はプログラムを設定しているときや、プログラム演奏中
はできません。

ランダム演奏中に **SKIP >>>** をを押すと次に演奏される曲に移り
ます。 **SKIP <<<** を押すと演奏している曲の頭に戻ります。

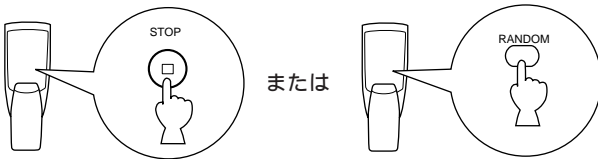
ランダム演奏中には TOTAL REMAIN 時間は表示されません。

ランダム演奏中に電源を切り、その後タイマーなどにより再び電源が
入れば、ランダム演奏が自動的にはじまります。

トラック(曲番)インジケータの表示が回転したのち、本機がディスクの
曲を順不同に演奏しはじめます。

ランダム演奏の解除

STOP または **RANDOM** を押します。また **OPEN/CLOSE** を押
してトレイを開けると解除されます。



繰り返し演奏する(リピート演奏)

REPEAT を押します。

押すごとにリピート演奏モードが変わります。

シングルリピート

(ディスプレイに“ SINGLE REPEAT ” が点灯します。)

指定した1曲、または演奏中の曲を繰り返し演奏します。

フルリピート

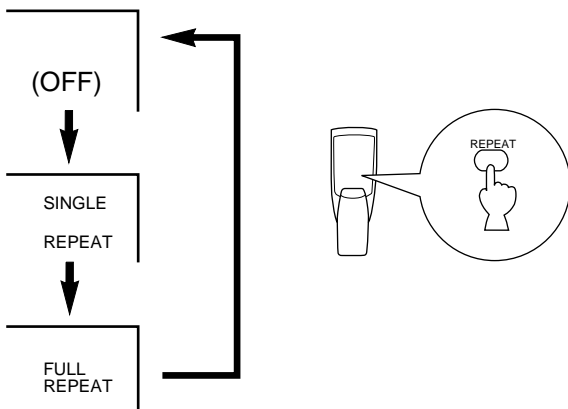
(ディスプレイに“ FULL REPEAT ” が点灯します。)

ディスクまたはプログラムをした曲の全曲を繰り返し演奏します。

ランダム演奏も同じ演奏順序でリピート演奏されます。

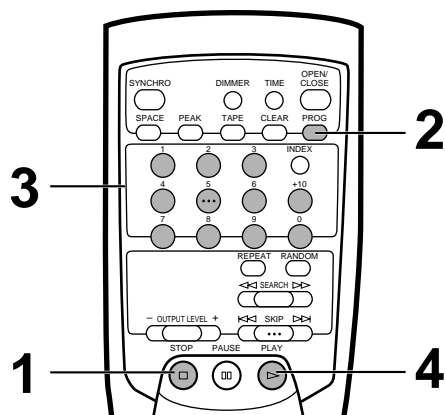
ご注意

フルリピート演奏中に電源を切り、その後タイマーなどにより再び電源
が入れば、フルリピート演奏が自動的にはじまります。ただし、シング
ルリピート演奏は電源が切れると自動的に解除されます。



好きな曲を好きな順序で聞く(プログラム演奏)

最大 25 曲までプログラムできます。



1 **STOP** を押して停止状態にします。

2 **PROG** を押します。

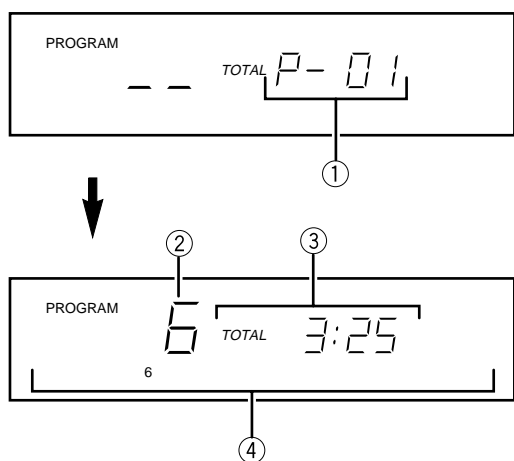
点滅します。

3 プログラムする曲を **+10**、**1** ~ **0** で選びます。

この手順を繰り返して好きな曲をプログラムしてください。同じ曲を2度以上プログラムすることもできます。

4 **PLAY** を押すとプログラム演奏がはじまります。

プログラムしているときの表示



- ① 何番目にプログラムされるかを表します。
- ② プログラムした曲番
- ③ 今までプログラムした曲の総演奏時間
- ④ プログラムされたすべての曲番

総演奏時間が 100 分を越えると下 2 ケタの数字しか表示されません。
手順 2 において、**PROG** を押してもディスプレイに “P-01” が表示されない場合は、**TIME** を 1 回押してください。

ご注意

プログラムした曲の飛び越し選曲するには：

SKIP (◀◀ または ▶▶) を押します。プログラムした曲の中だけで飛び越し選曲し、プログラムしていない曲には移りません。

早送り、早戻しについて：

SEARCH (◀◀ または ▶▶) を押し続けるとプログラムしていない曲にも移ります。

プログラム中に一時停止(ポーズ)を1回挿入することができます。プログラムの際、一時停止(ポーズ)を挿入したいところで、数字キーの代わりに **TAPE** を押します。このとき、曲番の替りに“P”が表示され、“O O B”が点灯します。[一時停止(ポーズ)が挿入されたことを表します。]

曲番が25以上の曲番をプログラムした場合、総演奏時間は表示されません。

プログラム演奏を止めるには：

STOP を押します。ディスプレイには最初にプログラムした曲番が表示されます。演奏を再びはじめるには **PLAY** を押します。プログラムの最初から演奏がはじまります。

プログラムを解除するには：

プログラムの設定が終わったとき (**PLAY** を押す前)、または停止状態のときに **CLEAR** または **STOP** を押します。

プログラムした内容はすべて消え、通常の演奏モードになります。また、トレイを開けたり電源を切るとプログラムは解除されます。

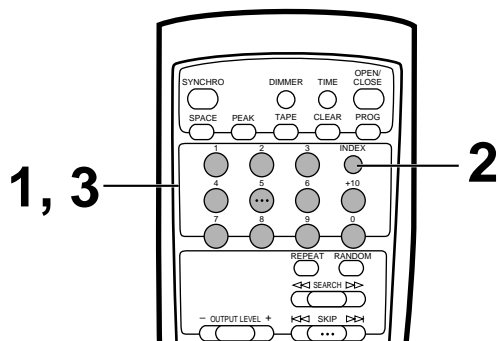
プログラムを確認する、または訂正するには：

この操作をするときは停止状態にしてください。

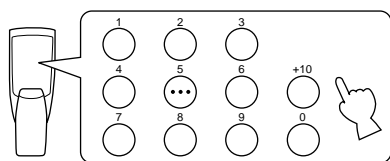
1. **PROG** を押します。
2. **SKIP** (◀◀ または ▶▶) を押しごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラムを確認できます。プログラムを訂正するときは、**SKIP** (◀◀ または ▶▶) を押して訂正したい曲番を表示させ、正しい曲番を **+10**、**1** ~ **0** で入力します。訂正前の曲番は消え、新しい曲番が表示されます。
3. **PROG** を押します。プログラムの訂正が完了しました。訂正後すぐに演奏をはじめるときは **PROG** のかわりに **PLAY** を押します。

インデックス番号を指定して聞きたいところを演奏する(インデックスサーチ)

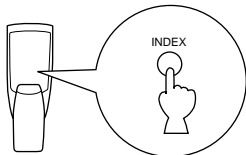
インデックス番号が記録されたディスクでは、インデックス番号を指定してそこから演奏をはじめることができます。



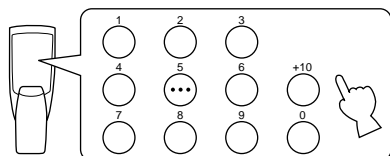
- 1** **+10**、**1** ~ **0** で曲を選びます。



- 2** **INDEX** を押します。ディスプレイに“INDEX”が表示されます。



- 3** **+10**、**1** ~ **0** でインデックス番号を指定します。



インデックスについて

1つの曲をさらに小さな部分(たとえばクラシック曲の楽章など)に区切り、番号付けしたものがインデックスです。インデックスが記録されているディスクには、解説書に **IN:DEX** マークがついています。

ディスクに記録されているインデックス番号より大きな番号を指定すると、最後のインデックスから演奏がはじまります。

ディスクによってはインデックス番号の少し手前から演奏がはじまることがあります。

インデックスが記録されていないディスクでインデックス番号を指定すると、選ばれている曲の頭から演奏がはじまります。

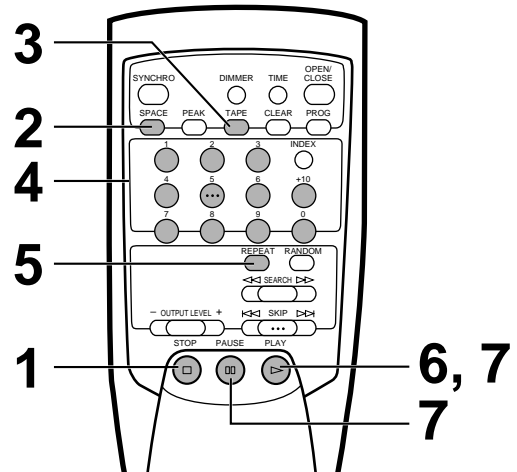
通常の演奏状態に戻すには、もう一度 **INDEX** を押します。“INDEX”がディスプレイから消えます。

本機のプログラム機能を使ってテープ録音する(テーププログラム)

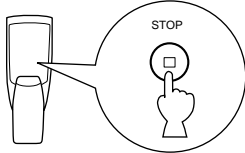
ディスクをテープに録音するときに便利なプログラム機能です。

テープの長さを本機にメモリーさせることにより、テープの余り時間を最少限に抑えてプログラムすることができます。

曲順を変えることなく、自動選曲録音したいときは
(オートテーププログラム)

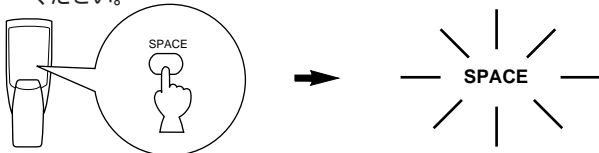


1 **STOP** を押して停止状態にします。

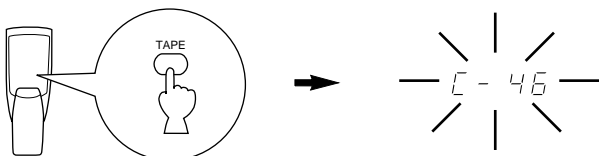


デッキ側で録音レベルの設定をする際、本機のピークレベルサーチ機能を利用すると便利です。
(詳しくは、19ページの『ディスク内の最大の音をさがす(ピークレベルサーチ)』を参照してください。)

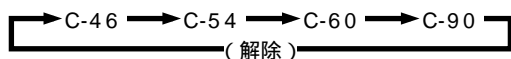
2 必要であれば **SPACE** を押します。
各曲間に約4秒間のスペースが挿入されます
(詳しくは、19ページ『オートスペースについて』を参照してください。)



3 **TAPE** を押します。

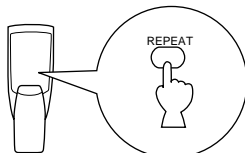


TAPE を押すごとに、テープの長さ(テープの時間)の表示が次のようになります。使用するテープの長さと同じものを選んで下さい。



4 使用するテープの長さが手順 3 で表示されない場合は、**+10**、**1** ~ **0** でテープの長さを入力します。
(例) C-64のカセットテープ(片面32分)の場合、まず手順3で**TAPE**を押した後、**6**、**4**を押します。
最大99分まで設定できます。
テープの長さを変更するときは続けて入力します。

5 **REPEAT** を押します。



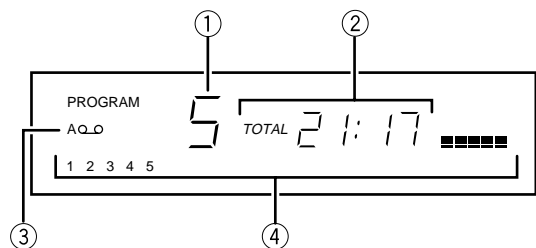
本機がディスクの曲順を変えずにテープの長さに合わせてA面、B面にプログラム(最大24曲まで)します。

6 デッキを操作してテープA面の録音をはじめ、同時に本機の**PLAY**を押します。
オートテーププログラム演奏がスタートします。

7 テープのA面に録音する曲の演奏が終了すると本機はB面演奏の曲番表示に変わり、一時停止(ポーズ)状態になります。デッキを操作してテープB面の録音状態にし、本機の**PLAY**または**PAUSE**を押します。
残りのプログラム演奏がスタートし、テープB面に録音が開始されます。

ご注意

使用するテープの時間がディスクの総演奏時間に対して余裕が少ないときは、録音できない曲がでることがあります。
(例) 総演奏時間が45分50秒に対し、カセットテープがC-46(片面23分)であっても録音できない曲がでることがあります。
全曲を収録するためには、十分な時間のテープを使用してください。
手順5で**REPEAT**を押すと、A面、B面それぞれのプログラム結果がディスプレイに表示されます。

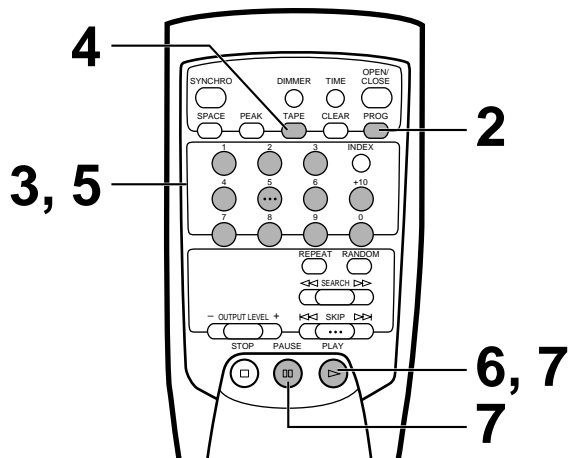


- ① プログラムされた総曲数を A面、B面ごとに続けて表示した後、A面にプログラムされた最初の曲番を表示します。
- ② プログラムされた曲の総演奏時間
- ③ A面または、B面を表します
- ④ プログラムされたすべての曲番

使用するデッキがシンクロ録音対応デッキの場合は、手順6と7にてシンクロ録音が可能です。(詳しくは、20ページの『本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる(シンクロ録音)』を参照してください。)

あなたがCDから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上権利者に無断で使用できません。

曲順を変えてテープ録音したいときは
(マニュアルテーププログラム)



1 16ページの『オートテーププログラム』の手順1、2、3、4と同じ操作をします。

2 **PROG** を押します。

点滅します。

3 テープA面に録音したい曲を好きな順に、**+10**、**1** ~ **0** で選びます。

曲番を押すごとにA面の残り時間が表示されます。

4 **TAPE** を押します。
一時停止状態が挿入され、テープB面に切り替わります。

5 テープB面に録音したい曲を好きな順に、**+10**、**1** ~ **0** で選びます。

6 デッキを操作してテープA面の録音をはじめ、同時に本機の**PLAY**を押します。
テーププログラム演奏がスタートします。

7 テープA面に録音する曲の演奏が終了すると、本機はB面演奏の曲番表示に変わり、一時停止(ポーズ)状態になります。デッキを操作してテープB面に録音ができるようにして、本機の**PLAY**または**PAUSE**を押します。テープB面に録音する残りのプログラム演奏がスタートします。

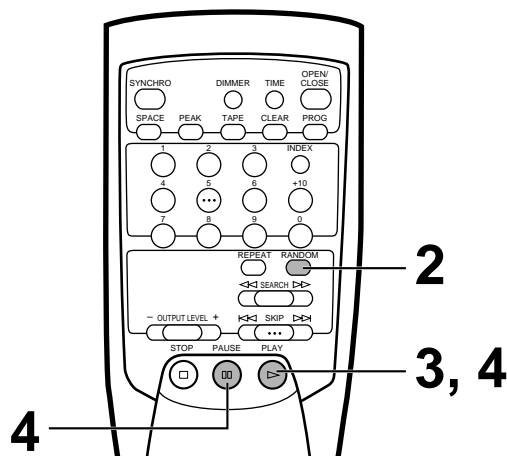
ご注意
テープ片面の残り時間を越える曲番を入力すると“Err”(エラー)表示をして受け付けません。
手順3と5にて、選曲するごとにその曲番とテープの残り時間が表示され、次のプログラムの入力待ちの表示“P”に変わります。
使用するデッキがシンクロ録音対応デッキの場合は、手順6と7にてシンクロ録音が可能です。
(詳しくは、20ページの『本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる(シンクロ録音)』を参照してください。)

テーププログラムについて
最大25曲(P-01からP-25)までプログラムすることができます。ただし、一時停止状態の挿入も1プログラムとして数えられます。(この場合、プログラムできる曲は実質24曲となります。)
プログラムできる曲番は最大24までです。25曲以上入ったディスクの場合、曲番25以上の曲はプログラムできません。

テーププログラムの解除
演奏前は**CLEAR**または**STOP**を押します。
演奏中は**STOP**を押してから、**CLEAR**または**STOP**を押します。
“PROGRAM”と“A Q O B”が消灯します。

テーププログラムのチェック・変更・追加
(15ページの『プログラムを確認する、または訂正するには:』を参照してください。)

本機に順不同に自動選曲させて録音したいときは
(ランダムテーププログラム)

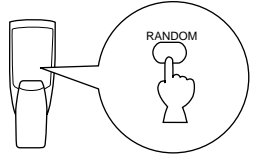


ご注意

ランダムテーププログラムでは、使用するテープの長さがディスクの総演奏時間に対して余裕の少ないときは、ランダム組み合わせにより収録できない曲がでることがあります。そのときは、**TAPE**と**RANDOM**を何度か押して、全曲が収録される組み合わせにしてから録音をはじめてください。また、テープの長さを変更するときは、**TAPE**を押してください。
手順2において**RANDOM**を押したのち、A面、B面それぞれのプログラム結果がディスプレイに表示されます。

1 16ページの『オートテーププログラム』の手順1、2、3、4と同じ操作をします。

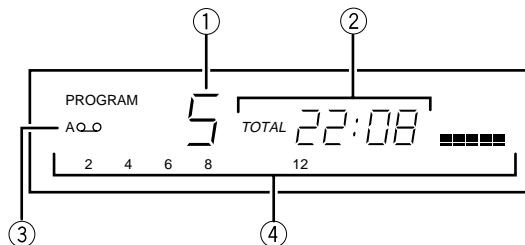
2 **RANDOM**を押します。



本機が自動的にテープの片面時間に収まる曲を順不同に選曲、A面、B面にプログラム(最大24曲まで)をおこないます。

3 デッキを操作してテープA面の録音をはじめ、同時に本機の**PLAY**を押します。

4 テープA面に録音する曲の演奏が終了すると、本機はB面演奏の曲番表示に変わり、一時停止(ポーズ)状態になります。デッキを操作してテープB面に録音ができるようにし、本機の**PLAY**または**PAUSE**を押します。テープB面に録音する残りのプログラム演奏がスタートします。



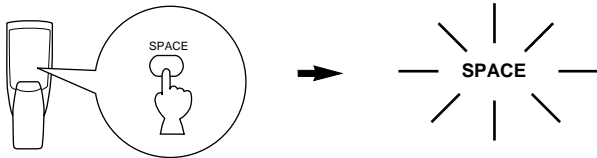
- ① プログラムされた総曲数をA面、B面ごとに続けて表示した後、A面にプログラムされた最初の曲番を表示します。
- ② プログラムされた曲の総演奏時間
- ③ A面または、B面かを表します
- ④ プログラムされたすべての曲番

使用するデッキがシンクロ録音対応デッキの場合は、手順3と4にてシンクロ録音が可能です。(詳しくは、20ページの『本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる(シンクロ録音)』を参照してください。)

テープ録音に便利な機能について

オートスペースについて

曲間が十分でないディスクの場合、そのままテープに録音しても、テープ演奏時に正しく選曲できないことがあります。録音時に、**SPACE**を押して各曲間に約4秒間のスペースを挿入しておけばデッキ側の選曲ミスを防ぐことができます。



TOTAL TIME、TOTAL REMAIN TIMEはスペース時間を加えた時間が表示されます。

ディスクにもともと約4秒間の曲間がある場合や、テープの選曲再生をしない場合は、オートスペースを入れる必要はありません。

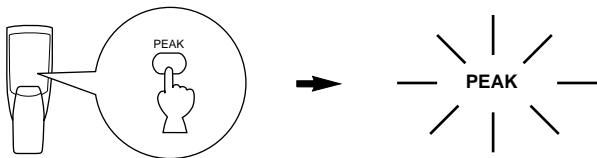
オートスペースを解除するには
SPACEを押します。

ディスク内の最大の音をさがす(ピークレベルサーチ)

ディスク内の最も音量レベルが大きいところを自動的にさがし出し、繰り返し演奏します。
この機能はテープに録音する際、デッキの録音レベルを調整するときに役立ちます。

1 **STOP**を押して停止状態にします。

2 **PEAK**を押します。



ピークレベルサーチを解除するには
STOPを押します。

ご注意

同じディスクでピークレベルサーチを2回以上おこなった場合、同じ部分が選ばれないことがあります。これは内蔵のマイクロコンピューターが、そのつどランダムに何ヶ所かのポイントを選び出し、その中で音量レベルの比較をおこなうためです。

本機がディスク内の最も音量レベルが大きいところを自動的にさがしします。

サーチ終了後、その部分を繰り返し(リピート)演奏します。

この演奏をもとに、デッキ側で録音レベルを調整してください。

ディスクトレイにディスクをセットして**PEAK**を押すと、ディスクトレイが閉まり、ピークレベルサーチがおこなわれます。

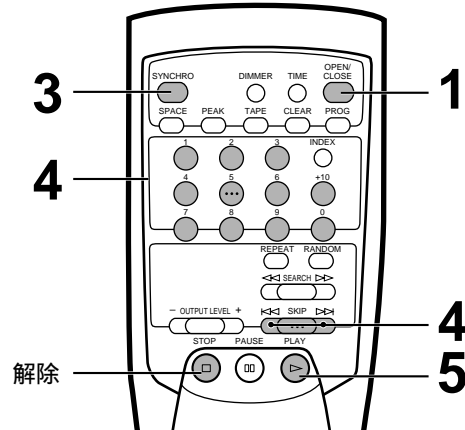
ピークレベルサーチはプログラムが設定された状態でも可能です。選曲後に**PEAK**を押すと、プログラムされた曲の範囲内でサーチがおこなわれます。

本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる(シンクロ録音)

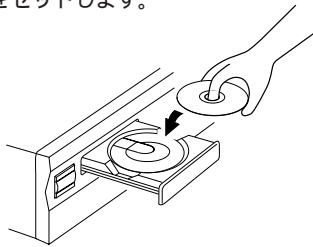
シンクロ録音機能を使うと、テープ録音が簡単かつ正確におこなえます。

シンクロ録音には、シンクロ録音対応のヤマハテープデッキが必要です。(使用するデッキがシンクロ録音対応かどうかは、デッキの取扱説明書を参照してください。)

シンクロ録音では、本機に付属のリモコンからの信号を、本機とデッキが同時に受信する必要があります。そのため本機とデッキは必ず近づけて設置して下さい。



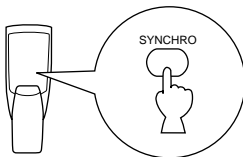
1 ディスクをセットします。



2 デッキにテープをセットします。

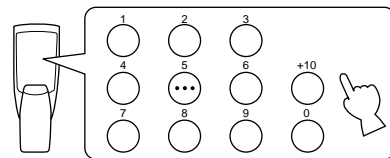
本機のピークレベルサーチ機能は、デッキの録音レベルを調整するのに便利です。(詳しくは、19ページの『ディスク内の最大の音をさがす(ピークレベルサーチ)』を参照してください。)

3 [SYNCHRO] を押します。

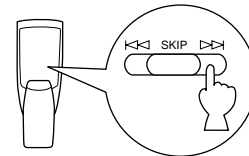


本機がPAUSE状態になりデッキはREC/PAUSE状態になります。
ディスプレイの演奏時間表示が点滅します。

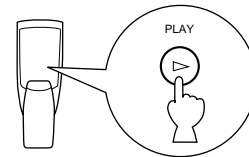
4 必要であれば、あらかじめ希望する曲を選曲しておきます。



または



5 [PLAY] を押します。



ディスクの演奏とテープ録音が始まります。

ディスクの演奏より少し前から録音が始まります。

6 録音を一時停止し、希望する曲から録音を再開したい場合は、手順 3 ~ 5 をくり返してください。

シンクロ録音機能を解除するには

[STOP] を押します。

ご注意

録音を終了、または停止させるには、テープデッキ側で適切な操作をしてください。

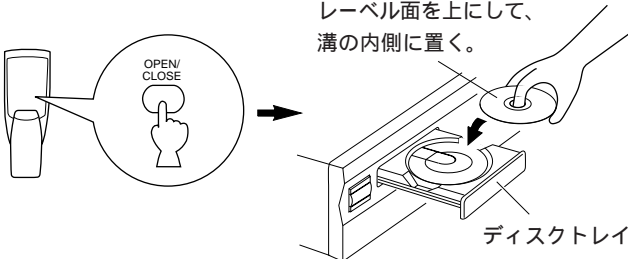
プログラムされた曲を録音する場合にも、シンクロ録音が使えます。(プログラムの手順は14、15ページを参照してください。)

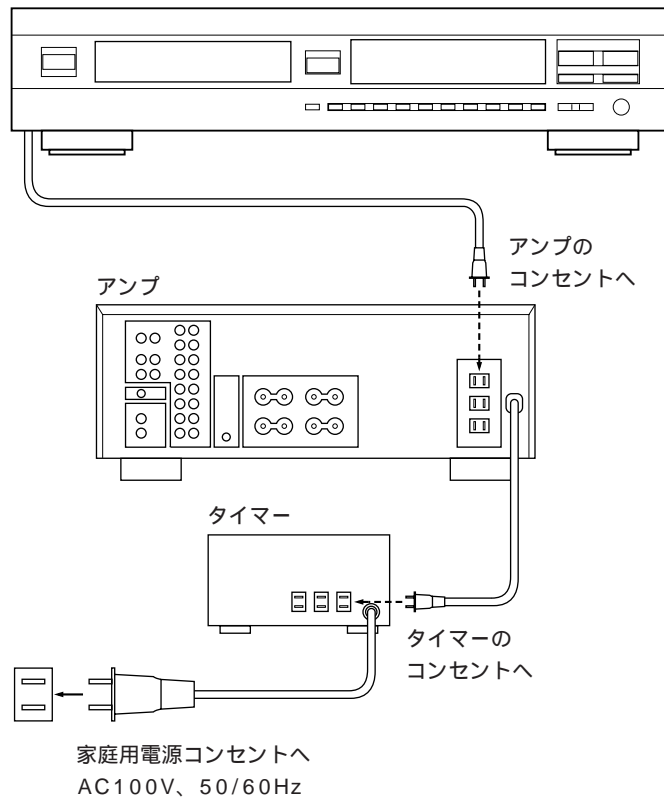
この機能はテーププログラム機能と合わせて使用できます。

(テーププログラムの方法は16~18ページを参照してください。)

設定した時間に演奏を開始する(タイマ - 演奏)

市販のオ - ディオタイマ - と組み合わせることで、設定した時間にディスクの演奏を開始することができます。

1	本機とアンプの電源を入れます。
2	OPEN/CLOSE を押してディスクトレイを開け、ディスクをセットします。  <p>レーベル面を上にして、溝の内側に置く。</p> <p>ディスクトレイ</p>
3	一度演奏を開始して、タイマ - 演奏時の音量を、アンプで調節してください。 ランダム演奏、またはフルリピ - ト演奏の設定も可能です。
4	タイマ - を設定します。 タイマ - で演奏開始時間、終了時間を設定してください。 タイマ - の取り扱いかたは、タイマ - の取扱説明書を参照してください。



以上の操作により、設定した時間に演奏がはじまります。

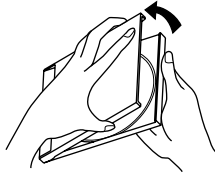
ディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク（CD方式）専用のプレーヤーです。
DISC COMPACT DIGITAL AUDIO
マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

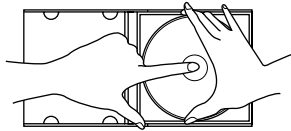
本機で再生できるディスクは、音楽用CDのみです。
CD-G、CD-ROM、VCD、CDV、DVDディスクなどは再生できません。
規格外のディスクはご使用にならないでください。
規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。

ケースからの取り出しかた

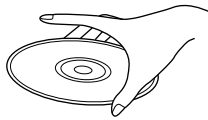
1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。



2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ち上げます。



3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。

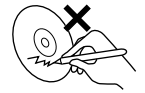


取り扱いの注意

信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかな布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。ほこりや汚れは柔らかい布で軽く拭き取るだけで十分です。多少のほこりや汚れは、音には影響ありません。



レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンで文字を書かないでください。



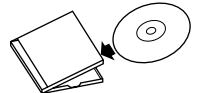
曲げたりしないでください。



信号記録面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



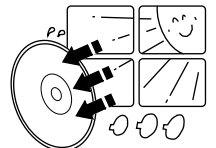
演奏が終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水で拭くことも避けてください。



直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くとディスクが変形する原因となりますので置かないでください。



ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となる場合があります。

故障かな？と思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上にして入れてください
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
	OUTPUT LEVELが絞られている	OUTPUT LEVEL で音量を調節してください。
音飛びがする	本機が振動やショックを受けている	設置場所を変えてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
ヘッドホンから音が出ない	OUTPUT LEVEL が絞られている	OUTPUT LEVEL で音量を調節してください
リモコンユニットでは操作できない	乾電池が消耗している	乾電池を2本とも交換してください
	リモコンユニットが受光部に向いていない	リモコンユニットを受光部に向けてキーを押してください
	受光部に強い日光や照明(インパルスタ蛍光灯など)が当たっている	受光部に強い光が当たらないように本機の置き場所や方向、または照明の位置をくふうしてください

参考仕様

形式	コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム	
オーディオ特性		
周波数特性	2Hz～20kHz±0.5dB	
高調波歪率(1kHz)		
CDX-593	0.0025%	
CDX-493	0.003%	
S/N比(EIAJ)		
CDX-593	115dB	
CDX-493	105dB	
ダイナミックレンジ		
CDX-593	98dB	
CDX-493	95dB	
ワウ・フラッター	測定検知限以下	
出力電圧	2.0±0.5V	
ヘッドホン出力(-20dB)	200±40mV/150Ω	

総合	
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	10W
外形寸法(W×H×D)	435×96×272mm
重量	3.6kg
付属品	ピンプラグコード リモコンユニット 単3乾電池(SUM-3)×2

本機は「高調波ガイドライン」適合品です。

「高調波ガイドライン」適合品とは、通産省・資源エネルギー庁の定めた「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。

仕様及び外観は改良のため変更をすることがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を未永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

- 技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テーブルデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

YAMAHA

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口
AVお客様ご相談センター
TEL (03) 5488 - 5500

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

- 北海道 〒064-0810 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108
- 仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7
仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249
- 首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434 - 3100
- 東京 (お持ち込み修理のみ取扱い)
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL (03) 5488 - 6625
- 浜松 〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内
TEL (053) 465 - 6711
- 名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230
- 大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)汗里丘センター内
TEL (06) 877 - 5262
- 広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787
- 四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック神戸高松店内
TEL (0878) 22 - 3045
- 九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



永年ご使用の本機の点検を!

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1
AV機器事業部
営業部 TEL (053) 460 - 3451
品質保証室 TEL (053) 460 - 3405
住所および電話番号は変更になることがあります。